



第87期 中間株主通信

2020年4月1日 ▶▶ 2020年9月30日



株式会社 三社電機製作所
証券コード: 6882

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
平素よりご高配を賜り、
心より厚く御礼申し上げます。

代表取締役会長 四方 邦夫
代表取締役社長 吉村 元



当第2四半期（2020年4月～9月）は、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会・経済活動への打撃が大きく極めて厳しい状態となりましたが、当社グループは、業務の継続が可能な部門は在宅勤務を導入し、営業部門ではリモートでの商談を進めるなどの感染症対策を行いながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のなか、半導体事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響から回復の早かった中国では、エレベーター用途の「モジュール」や温水便座などに用いられる「トライアック」が堅調に推移したものの、日本国内、米国、欧州、東南アジアでは大幅に前年同期を割り込みました。一方で、小型かつ長期信頼性に優れた「DIP型三相整流ダイオードブリッジ」のラインナップを

拡充し、量産を開始しました。

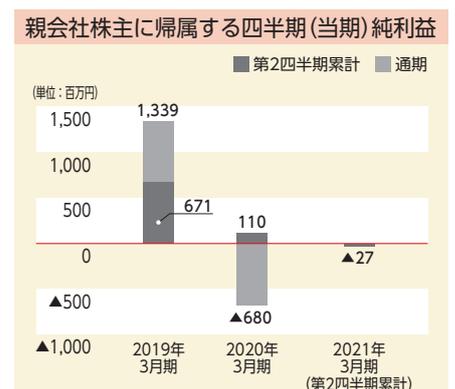
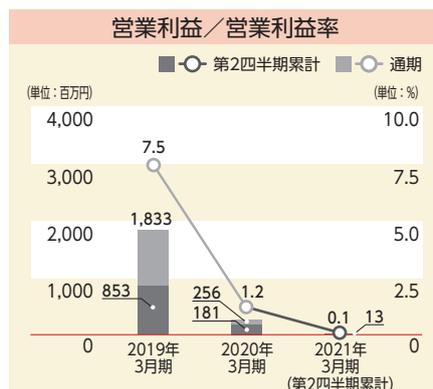
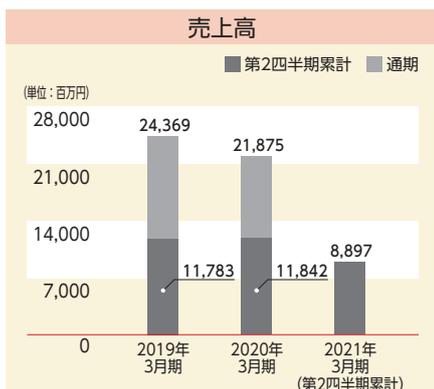
電源機器事業は、取引先の設備投資について投資時期延期や見合わせが多くみられ、大幅な減収となりました。一方で、各種金属めっきに対応した「モジュール式表面処理用直流電源」に新たに水冷モデルを開発し、発売を開始しました。

当社は、株主の皆様への利益還元を、最も重要な経営課題のひとつとして認識し、安定的な配当を継続することを基本的方針としておりますが、当期の業績の動向および財政状態を総合的に勘案し、中間配当は、1株につき5円とすることと決定いたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第87期 ハイライト

Highlights



半導体事業

売上高 2,738 (12.5%↓) 百万円
セグメント利益 23 (-) 百万円

パワーモジュール		2,058 百万円	前年同期比増減 12.1% ↓
ディスクリート他		679 百万円	前年同期比増減 13.7% ↓

電源機器事業

売上高 6,158 (29.3%↓) 百万円
セグメント利益 10 (-) 百万円

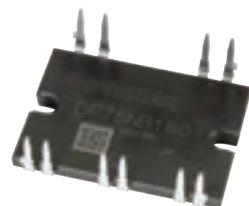
一般産業用		1,001 百万円	前年同期比増減 56.9% ↓
表面処理用 溶接機・切断機		1,579 百万円	前年同期比増減 4.2% ↓
光源用・調光用		324 百万円	前年同期比増減 39.5% ↓
その他インバータ (パワーコンディショナ・ 無停電電源装置等)		532 百万円	前年同期比増減 23.1% ↓
上記以外 (小型組込電源・サービス等)		2,721 百万円	前年同期比増減 22.6% ↓

TOPICS

半導体事業

DIP型三相整流ダイオードブリッジ ラインナップ拡充

業務用エアコンや産業用ロボットのインバータ部には、近年、小型化や高い信頼性を実現するためDIP（デュアル・インライン・パッケージ）型のIPM（インテリジェント・パワー・モジュール）が多く採用されています。当社は、DIP型三相整流ダイオードブリッジのラインナップを拡充し、量産を開始しました。本製品は、従来型の同容量モジュールと同等の性能を持ちながら、小型化を実現。また、従来型に比べて3倍以上の長期信頼性を実現しています。



電源機器事業

各種金属めっきに対応 「モジュール式表面処理用直流電源」に水冷モデルが新登場！

モジュールを組み合わせることにより必要な電流が得られる「モジュール式表面処理用直流電源」に新たなラインナップとして「水冷モデル」が加わりました。「水冷モデル」は、従来の「風冷モデル」の特長をそのままに、長期に安定した特性を維持できるよう耐環境性や冷却性能を向上させました。



■ 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

当社グループは、お客様、お取引先様および当社グループの従業員・家族の安全と健康を最優先とする基本方針のもと、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、拡大防止に取り組んでおります。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| ① 入社前の体温チェックおよび発熱や体調不良が認められる場合の出勤禁止 | ④ TV会議システムやweb会議の活用 |
| ② 通勤時や外出時のマスク着用、手洗い・うがいの励行 | ⑤ 不要不急の国内外出張の禁止 |
| ③ 入室時の手指の消毒の徹底 | ⑥ 事務所内デスク・会議室に飛沫防止用アクリル板を設置 |

Okayama Plant

工場紹介②

岡山工場

岡山県勝田郡奈義町柿1741

豊かな環境に囲まれた岡山の地でパワー半導体を製造しています。岡山工場紹介の動画をぜひご覧ください。



https://www.youtube.com/watch?v=3_lyqrBU3S4



岡山工場では、パワー半導体デバイスの核となるチップ製造（前工程）から組立、検査（後工程）までを一貫して行い、自動化の推進だけでなく、お客様のご要望に柔軟に対応できるようにマイスター育成に注力し、生産性・品質の向上に日々取り組んでいます。

岡山工場の取り組み

岡山工場では、平成29年度の環境省のASSET事業（先進対策の効率的実施によるCO₂排出量大幅削減事業）の対象事業者選ばれ、以下の取り組みを行っています。

① クリーンルーム用外気処理空調機・熱源機（チラー）を高効率機器へ入れ替え

② 非常照明以外すべての照明をLED化へ

重油使用量および電力使用量の削減につながりました。



高効率空冷式チラー



特長 1 前工程（ウエハ・チップ）から後工程（製品組立）まで一貫した生産体制



ウエハ



パワーモジュール

パワーディスクリート

特長 2 独自のパッケージ技術で高耐圧・高信頼性を実現

特長 3 お客様のご要望にあわせてカスタム対応可能

県内企業の人手不足や地域活性化の一環として開催されている「つやまオープンファクトリー」に2018年から参加。将来の技術者を育成するため、小中高生等を中心に工場見学の受け入れを実施しています。



【工場概要（2020年9月末現在）】 名称：半導体製造本部 岡山工場 操業開始：1985年9月 敷地面積：50,000㎡ 延べ面積：11,000㎡
 認証取得：ISO9001 (JQA-QMA16072)取得、ISO14001 (JQA-EM7548)取得 製造している主な製品：ウエハ・チップ、パワーモジュール、パワーディスクリート 他



無停電電源装置の開発で、高速道路の安全性確保に貢献。

高速道路は、広域物流や地域間の交流・連携に大きな役割を果たし、重要な社会経済基盤のひとつです。災害時には迅速な支援のため交通・輸送の重要性はさらに増します。高速道路のトンネル内部には、車の安全性を確保するため、停電時に暗闇にならないよう無停電電源装置が設置されています。三社電機製作所の無停電電源装置は高速道路の安全を守っています。

無停電電源装置とは

停電などによって電力が断たれた場合にも電力を供給し続ける電源装置です。無停電電源装置は、電圧低下・停電が許されない、コンピューターや通信・防災・発電所・航空管制塔などで使用されています。

当社製品の特長

- 待機型または無瞬断切り替え方式で、電力を切れることなく供給し続けます。
- 蓄電池寿命を高精度で判断し、交換のタイミングを適切にお知らせします。
- 中・大容量（産業用）に対応。



無停電電源装置 (UPS)

導入事例

高速道路の料金所やトンネルの照明・非常警報装置などの重要な施設は、停電が発生した場合、電力会社からの送電が復旧するまでの間、無停電電源装置や自家発電装置等により給電を継続することが求められています。三社電機製作所の無停電電源装置はトンネル内の照明やツールゲートのコンピューターのための非常用電源など、全国の高速道路100か所以上に設置されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)とは、2015年9月に国連加盟国が採択した2030年までに持続可能な世界を実現するための17の目標です。

三社電機グループは、これらの目標達成に事業を通じて貢献してまいります。

経営理念

社会に価値ある製品を

常に社会の求める製品の創造につとめ よりよい品質によって 社会の発展に貢献する

企業に利益と繁栄を

常に衆知を集めて企業の繁栄をめざし 利益の確保につとめ 社会的責任を全うする

社員に幸福と安定を

常に新たな英気をもって未来をみつめ 信頼と協調によって 社員の幸福と安定したくらしをはかる

会社概要

2020年9月30日現在

商号	株式会社三社電機製作所
本社	大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
設立	1948年(昭和23年)4月28日
資本金	27億7,427万7,500円
従業員数	(連結)1,346名 (単体)686名

事業所

- 国内本社 大阪市東淀川区西淡路3-1-56
- 東京支店 東京都台東区東上野1-28-12
- 中部営業所 愛知県名古屋市中区泉1-23-30
- 九州営業所 福岡市博多区博多駅東2-15-19
- 北陸事務所 石川県金沢市彦三町1-2-1
- 滋賀工場 滋賀県守山市勝部町452-1
- 岡山工場 岡山県勝田郡奈義町柿1741
- 海外ヘルシンキ支店(フィンランド)
- ソウル支店(韓国)
- 台北支店(台湾)

子会社

- 国内株式会社三社ソリューションサービス(大阪市)
- 株式会社三社電機イースタン(長野県)
- 海外サンレックスコーポレーション(アメリカ)
- サンレックスアジアパシフィックPTE. LTD.(シンガポール)
- サンレックスリミテッド(香港)
- 三社電機(上海)有限公司(中国)
- 三社電機(広東)有限公司(中国)
- 東莞伊斯丹電子有限公司(中国)

株式の状況

2020年9月30日現在

発行可能株式総数	42,600,000株
発行済株式の総数	14,950,000株(自己株式902,122株を含む)
株主数	5,456名

ホームページをリニューアルしました。

三社電機製作所の事業をよりわかりやすくお伝えするために、ホームページをリニューアルし、4月1日に公開しました。今後もよりいっそう充実したホームページにしてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当社ホームページ内「投資家情報」では企業情報や決算情報を掲載しています。▶ <https://www.sansha.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	(1) 定時株主総会、期末配当 毎年3月31日 (2) 中間配当 毎年9月30日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(受付時間 土・日・祝祭日を除く9時~17時)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に、「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します。 (https://www.sansha.co.jp/)。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株



株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621
URL <https://www.sansha.co.jp/>

